

ミカタとは、市民の見方、くらしの味方という意味を表しています

発行人兼編集人/大道 義知

〒604-8571 京都市中京区
 寺町御池上る上本能寺前町488番地
 TEL: 075-222-3732
 FAX: 075-212-3608

公明党京都市会

検索

現場第一主義! 介護施設を総点検!!



御池デイサービスセンターを視察 介護施設の問題について、現場の方々にご意見をいただきました

いよいよ、公明党介護総点検運動が本格的にスタート

公明党京都市会議員団(大道義知団長)は、10月28日午後、中京区の御池老人デイサービスセンターを訪問し、利用者や施設関係者などの現場の声を聞きました。

全国規模の実態調査

心機一転、山口那津男代表のもと新体制で船出した公明党は、「介護問題総点検アクションプログラム」を発表。全国3000



御池デイサービスセンターを視察



利用者のご意見を丁寧にうかがいました

人を超える公明議員が、課題が山積みの介護問題を改善するため、11月から12月にかけて「現場第一主義」で介護現場の実態を総点検する取り組みが始まりました。

対話から始まる 問題解決への第一歩

御池老人デイサービスセンターは、中京区御池通り柳馬場にあり、地域の高齢者の皆さんが利用されています。議員団が見学に訪れたときは、お昼ご飯を終えて和気あいあいと健康体操などのサークル活動をしておられました。

すがすがしい雰囲気の中で、利用者の皆さんは楽しそうでした。三浦センター長ほかスタッフの方々から、これからの大事な課題をじっくりと取材でき、有意義なひとときとなりました。

清新な決意で、 市政に庶民の声を反映!

谷口弘昌 代表幹事



政治・社会が大きく激変する中で、「大衆とともに」の公明党立党の不变の精神が、胸中深く、また重く迫っています。今まさに、公明党の真価が問われていると言って過言ではありません。どのような状況になろうとも、公明党は現場第一で庶民の期待にこたえるための取り組みを粘り強く続けてまいります。今再びの清新な決意に立って、庶民の声を市政に反映し、政策を実現してまいります。

現場感覚を踏まえた 政策提言を

湯浅光彦 政調会長



私たち市会議員は、市民の皆様が一番近い所で生の声を伺うことが出来る立場にあり、直接市政に反映させていく役割を担っております。「調査なくして発言なし」との姿勢を貫き、子育て世代、働く女性、高齢者、若者、自営業者の方々など、京都市民お一人お一人の声を真摯に受け止め、市民感覚あふれる政策を提言、実行してまいります。よろしくお願ひします。



京都議定書発祥の地として、時代を先取りする温暖化対策の取り組みを一層充実させるため、「地球温暖化対策推進委員会」の積極的な議論と、市民の声を大きく

谷口弘昌議員は、公明党の結党の原点である、「大衆とともに」との精神を胸に刻み、京都市政に貢献すると決意を表明。緊急経済対策の補正予算を凍結して、執行停止を打ち出している民主党政権に、事業の継続性が遮断され、混乱を招くこ

説明責任を果たさない政府の強引な予算執行停止を批判



谷口弘昌議員 伏見区

また、感染の拡大が懸念される新型インフルエンザ対策の速やかな執行が求められていることを指摘し、市民に混乱が生じることのないよう万全の体制を整備するよう要望。

新型インフルエンザ対策について

市長から、体制整備に対する強い決意が表明されました。

とへの強い懸念を示し、京都市としても毅然と対応するよう市長に求めました。

谷口弘昌議員のおもな質問項目

- 予算執行停止による本市財政への影響について
- 決算時期変更による本市財政運営への影響について
- 財政健全化法に基づく、市バス・地下鉄事業経営健全化計画策定について
- 新型インフルエンザ対策について
- 京都市地球温暖化対策条例の見直しについて
- 世界人権問題研究センターの施設環境整備について



次に、ひとり親家庭へのきめ細やかなサポート事業を充実する中で、母子家庭と比べて比較的やすい父子家庭への支援を強化するよう主張しました。市長は、市独

父子家庭への支援強化について

平山賀一議員は、子どもたちの命と健康を守るために、細菌性髄膜炎予防対策として大きな効果がある「ヒ

予防接種補助成について

平山賀一議員のおもな質問項目

- ヒブワクチン・肺炎球菌ワクチン予防接種の公費助成について
- 保育園待機児童の解消について
- 父子家庭への支援強化について
- 多子世帯へのサポートについて
- 全国学力テストに対する京都市の対応について
- 京都市中学校教育創造プランについて
- 桂川右岸浸水対策の早期実施について

京都市中学生の学習意欲が低いといわれる問題に対し、学校と家庭と地域が三者協働し、中学生が学力向上を通じて「学ぶ力」と「生きる力」を育む「中学校教育創造プラン（仮称）策定を提案。教育長から学力向上に丁寧に取り組んでいくとの答えがありました。

京都市中学校教育創造プラン策定について

ほっとニュース

京都市会が国の意見書を可決

子育て応援特別手当の中止を撤回せよ!

10月28日の最終本会議で、子育て特別応援手当の支給停止を政府が決めたことに対する意見書を公明党・自民党・民主都みらい各議員団と共同で提案し、可決成立しました。

経済危機へ緊急対策を

久保勝信議員は、景気対策や雇用促進、医療介護などの社会保障の充実には、手遅れになる前に大胆かつスピード感を持って対応すべきと訴えました。門川市長は6月に臨時議会を開催し、緊急の補正予算を編成すると表明。京都市政を大きく動かしました。



環境を柱とした新たな需要創出を

「環境モデル都市・京都」として、先進的な環境対策を行うことで、経済再生への起爆剤とするともに、新たな需要創出をしていくべきと訴え、市長から電気自動車等の軽自動車税を来年から5年間免除するとの答弁を引き出しました。

地域コミュニティ活性化について

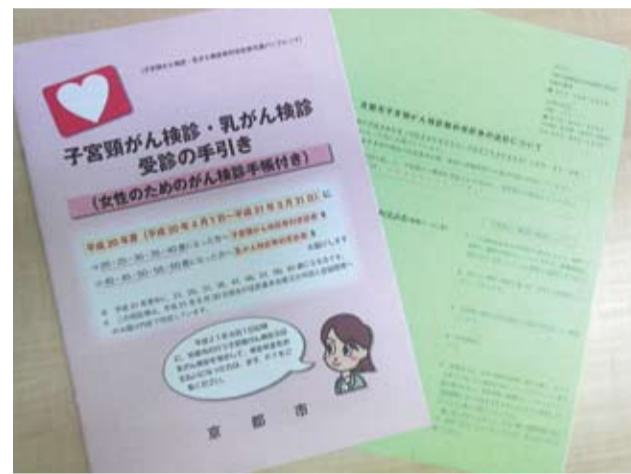
久保勝信議員のおもな質問項目

- 経済危機対策について
- 地球温暖化対策について
- 中小企業支援について
- 安心安全に歩くことができるまちにむけて
- 歩くまち京都の充実について
- 市内周辺部における公共交通について
- 駅周辺における駐輪場の確保について
- 地域コミュニティの活性化について

に根ざした地域コミュニティ活性化が急務であると訴え、既成の枠を超えた様々なまちづくり活動の支援策を提言。市長から意欲的な答弁がありました。

女性のがん対策について

津田早苗議員は、女性特有（子宮頸がん・乳がん）のがん検診率を高める観点か



平成22年度に創立130周年をむかえ

京都市立芸術大学について

門川市長は、「若い世代の罹患も多いため、受診勧奨と検診体制の確保に努めます」と答弁。7月末に、政令市でいち早く無料クーポン券・手帳の配布が実現しました。

女性のがん対策について



津田早苗議員 伏見区

全員元気いっぱいの

代表質問です!

京都市会定例会議の代表質問で、公明党市会議員団が市民目線の政策を提言。5月議会では、5月20日に久保勝信議員（山科区）と津田早苗議員（伏見区）が、9月議会では10月2日に谷口弘昌議員（伏見区）と吉田孝雄議員（上京区）、そして平山賀一議員（西京区）が質問に立ちました。



次に、家庭用ごみ袋有料化から3年が経過した今こそ、ごみ減量に市民が積極的に参画できるような情報を公開する「ごみ減量検証システム」を提案。門川市長は環境モデル都市として国を牽引すると決意を表明。

ごみ減量を検証するシステムを確立

3人乗り自転車普及で子育て支援を

吉田孝雄議員は、子育て中のお母さんたちを支援するため、3人乗り自転車普及に對して具体的に助成するよう要望。子育て政策監から、国や京都府とも協議して推進すると前向きな答弁がありました。

「家族の力」を高めるための支援について

子どもの学びと未来を育てるために、家庭における子育て力・親との対話力など「家族の力」を高める具体策を提案。

市立芸術大学の未来像について質問。「京都市立芸術大学のあり方懇談会」の提言をうけ、迅速に意思決定できる執行体制の確立として、独立行政法人化の検討も含め、市民に愛される芸術大学の確立を求めました。

津田早苗議員のおもな質問項目

- 女性の健康づくりについて
- がん検診受診率向上に向けた取り組みについて
- 京都市立芸術大学について
- 校庭の芝生化について
- 「家族の力」を高めるための支援について

教育長から「教育や社会福祉等の専門的なスキルソーシャルワーカーを増員して、家庭への働きかけや子育ての喜び、親としての自覚を高めるきっかけを支援するプログラムを策定します」との答弁がありました。

パークアンドライドの充実を

また、市内への自動車流入を抑制する「パークアンドライド」は、公共交通増容・地球温暖化対策・渋滞緩和の切り札であると主張。ソフト・ハード両面で具体的に提言したところ、副市長から「縦割り行政」の限界を乗り越えて全庁的に検討すると確約がありました。

吉田孝雄議員のおもな質問項目

- 地下鉄駅周辺の案内表示の改善
- 地下鉄増収増客に向けた市民参加の取り組みについて
- パークアンドライドのソフト・ハード両面の充実について
- ごみ減量の検証システムについて
- レアメタルの回収促進について
- 子育て支援のための3人乗り自転車の普及促進について
- 二世帯住宅の助成制度に関する意識調査について

Report!

市長総括質疑レポート

平成20年度の京都市決算を審査する決算委員会、代表の議員が門川市長と二問一答の質疑をおこないました。

公営企業特別委員会

- 10月16日 柴田章喜議員（左京区）
- ・有収率向上を目指し、鉛製給水管取替事業のさらなる推進を提案。
- 吉田孝雄議員（上京区）
- ・地下鉄の駅ナカビジネス拡充のため、市民参加促進を提案。
- 平山賀一議員（西京区）
- ・病院事業改革プランを市民にわかりやすく改善すべきと主張。

普通予算特別委員会

- 10月20日 井上敦子議員（下京区）
- ・子育て応援特別手当の存続・区役所の相談業務の充実を主張。
- 湯浅光彦議員（右京区）
- ・暫定税率廃止に伴う京都市への財政的影響及び伝統産業的の所有権の保護支援について。
- 津田早苗議員（伏見区）
- ・女性特有のがん検診促進と薬物乱用対策充実を提案。
- 久保勝信議員（山科区）
- ・制度融資の円滑な対応や不況に強い税財政構造を提言。

中京区

木村 力

①2期 ②教育福祉委員会

④子どもたちの健全な育成は、地域社会全体の願いです。私はこれまでも幼児期における絵本読み聞かせや、小・中学校での朝読書の拡充に取り組んできました。今後は学校図書館の総点検を行ない、整備・充実に取り組んでまいります。

左京区

柴田 章喜

①4期 ②交通水道委員会

④京都市立病院の事業の経営形態が地方独立行政法人化に移行する事が決定しました。開かれた病院経営を構築するための第一歩です。地域医療、がん対策等市民の命を守る病院構築のため、力いっぱい貢献してまいります。

上京区

吉田 孝雄

①1期 ②交通水道委員会

④きめ細かく地域を歩き、お年よりも体の不自由な方も子どもたちも、尊敬し合い励まし合う、暖かな街づくりを目指して、汗を流してまいります。子育て支援・高齢者福祉の充実のため、現場総点検運動にダッシュします。

北区

日置 文章

①5期 ②交通水道委員会

④市民の生活を守る市政推進のため、以下のことに全力で取り組みます。1)市政改革を推進し、全ての事業に対し市民の目線できめ細かに見直し、無駄を排除します。2)産業の活性化を強力に推進し、雇用の確保と税収増を図ります。

わたしの挑戦— いま取り組んでいます!

～公明党京都市議員団からひとこと～

①期数 ②委員会 ③会派役職 ④メッセージ

右京区

湯浅 光彦

①2期 ②経済総務委員会
③政調会長

④ムダをはぶいた市政運営に取り組み、観光、伝統産業、新産業など京都市の活性化に取り組んでおります。また環境健康にもやさしい自転車の活用促進と歩行者の安全確保のため自転車マナー改善、自転車通行帯の設置をめざしています。

南区

大道 義知

①5期 ②まちづくり消防委員会
③団長

④私は、来るべき少子高齢化社会を踏まえ、シルバー・ニューディール政策(長寿社会に対応したまちづくり政策と経済振興策との連動)と、子育てアセスメント(子育て支援策の効果評価)の政策研究に取り組んでいます。

下京区

井上 教子

①3期 ②くらし環境委員会

④現在、検討が行われている梅小路公園の整備計画を踏まえ、地元商店街等の地域活性化策と男女共同参画社会の実現をめざし、仕事と家庭の両立の取り組みについて調査を行い、次の予算に反映したいと思います。

山科区

久保 勝信

①2期 ②くらし環境委員会

④「調査なくして発言なし」一足で歩き肌で確かめた上で政策立案する。この原点を忘れず、今、「介護」への総点検運動を実施し、介護の現場が抱える問題の解決へ向け、多くの現場に入り、具体的な苦悩を感じ取ってまいります。

伏見区

津田 早苗

①2期 ②教育福祉委員会

④待望の伏見区総合庁舎を中心とした、歴史と伝統の中心市街地の活性化と南部創造「らくなん進都」のまちづくりを推進します。また家庭・学校・地域との連携の下、児童虐待防止・青少年の薬物乱用防止・介護予防対策に取り組めます。

伏見区

曽我 修

①2期 ②まちづくり消防委員会

④明年はNHK大河ドラマ「龍馬伝」が放映されます。日本政治の一大転換の舞台となった伏見区がより一層発展し、歴史都市京都をリードする街づくりのため、私も龍馬のように地域住民の皆さんと一緒にガンバります。

伏見区

谷口 弘昌

①5期 ②経済総務委員会
③代表幹事

④「環境モデル都市」の認定を受けた京都市に住む者として、少しでも地球温暖化対策に貢献するため、こまめに電気を消灯し、ごみの分別を徹底して行い、身近なところから「DO YOU KYOTO?」運動に挑戦しています。

西京区

平山 賀一

①1期 ②交通水道委員会

④市民のお声も、議員の発言も、取材や体験に基づく言葉はわかりやすく生きていと感じています。現場をもっと歩き、地域活動をもっと行い、「生活」「地域」の課題に真正面から取り組めるよう一生懸命に歩いてまいります。

京都いつでもコール
市政情報総合案内コールセンター

市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。
午前8時～午後9時(年中無休)

● TEL:075(661)3755 ● FAX:075(661)5855

● 電子メール(以下のホームページから)

パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>
携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

左記の二次元コードから携帯電話でアクセスできます(一部機種除く)



みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを
公明党京都市議員団にお寄せください

● TEL: 075(222)3732
● FAX: 075(212)3608
● ホームページ: [公明党京都市会](#)

